



幌延町広報誌

ほろのべの恋

2020年12月号
(令和2年)
NO.674



今月の表紙

今月号の表紙は11月14日に行われたこども園おゆうぎ会です。

にじ・そら・ほし・はな組の園児たちは、ゆうぎやオペレッタ、うたを笑顔で元気よく発表しました。写真はにじ組のオペレッタです。



公共施設電話番号(告知端末)

- 幌延町役場 代表電話 5-1111
- 総務財政課 直通 5-1111(5-8811)
 - 住民生活課 直通 5-1112(5-8812)
 - 保健福祉課 直通 5-1113(5-8813)
 - (保健センター) 直通 5-1790(5-1790)
 - 企画政策課 直通 5-1114(5-8814)
 - 産業振興課 直通 5-1115(5-8815)
 - 建設管理課 直通 5-1116(5-8816)
 - 教育委員会 直通 5-1117(5-8817)
 - 議会事務局 5-1111(5-8818)
 - 問寒別出張所 6-5006(6-5006)
 - 認定こども園 5-1254(5-1254)
 - 国保診療所 5-1221(5-1221)
 - 給食センター 5-1366(5-1366)
 - 幌延生涯学習センター 5-1321(5-1321)
 - 総合体育館 5-2111(5-2111)
 - 消防幌延支署 5-1159(5-1159)

QRコードを読み込むと幌延町のホームページを見ることができよ。過去の広報誌もあるから読んでみてね。



幌延町ウェブサイト



広報ページ

もくじ

- 3 - 第9回「成年後見制度」のご紹介
- 4 - 令和2年度 幌延町表彰式
- 5 - 写真特集① 学芸会・おゆうぎ会特集
- 6.7 - 「幌延町における深地層研究に関する協定書」の履行状況に係る確認について
- 8 - 第2回 ふるさと納税の返礼品について紹介します
- 9~11 - 令和2年度 町政懇談会を開催しました
- 12 - 幌延深地層研究センターについて
- 13 - 幌延深地層研究センター「地下の研究現場から」第6回-幌延町の地下に生き物がいる?
- 14 - 地域おこし協力隊通信Vol.60
- 15 - まちの話題-宗谷の児童トナカイふれあい体験、秋の火災予防運動など
- 16.17 - 情報〈インフォメーション〉-12、1月の運転免許更新時講習のお知らせ/気象台一口メモ/十月定例俳句会作品など
- 18.19 - 写真特集② 令和2年を振り返ろう
- 20 - ねんきん通信-悩みを解決!年金Q&A
- 21 - 町民くらしのカレンダーなど
- 22 - 令和3年 成人式/わが家のエンジェルなど



まちのうごき

令和2年10月末日現在 ※()内は前月比



男	1,177 (+4)
女	1,096 (-3)
合計	2,273 (+1)

世帯数 1,246 世帯 (-1)



高額な布団や着物を購入しても、成年後見人等が取消することができます。

成年後見人等が代理人としてアパートの入居契約を行います。



認知症や知的障がい・精神障がいなどの人は、不動産や預貯金などの財産管理、医療や福祉サービスを利用するための手続きや契約が難しい場合があります。また、悪徳商法や詐欺などの被害にあう危険性も高くなります。成年後見制度はこのような判断能力が不十分な人を法律面や生活面で保護・支援する制度です。

成年後見制度って何だろう？



成年後見支援センターって何をするところ？



高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るように、成年後見制度などに関する相談に応じ、利用についてサポートしています。

また、住民や関係機関などへ成年後見制度の理解を深めるための研修会の開催や、市民後見人のフォローアップ研修などを行っています。

権利擁護研修会を開催しました。

10月23日、幌延深地層研究センター国際交流施設にて、事業所などに向けた「権利擁護研修会」を開催いたしました。昨年引き続き、2回目の開催となります。

今回は、成年後見支援センターのアドバイザーとして関わっていただいている「公

益社団法人北海道社会福祉士会 権利擁護センター・ぱあととあ北海道運営委員」の平川俊彦氏と、「りんどう法律事務所 弁護士」の富田佳佑氏をお招きし『みんなで暮らしを支えよう』私たちにできること』と題して、グループワークを行いました。日頃、

交流することがない職場の方々が集まったの研修でしたが、どのグループも活発に意見を出し合っていました。また、講師の方々から、成年後見人は実際に成年後見制度を利用する方のためどのようなことを行っているのか話をしていただきました。制度を利用する方が施設に入ってからや施設から自宅に戻った時、さらにはお亡くなりになった時の各種手続きなど、実に様々なことを行って生活を支えているということがわかりました。

生活を支えていくためには成年後見人だけではなく、その地域に住むみんながそれぞれ

の立場で一緒に支えていかなくてはならないことや、住み慣れた町で安心してその人らしく生きていくためには、地域のみんなの力、地域つながりが大切だということがわかり、参加した方々にとっても充実した研修となったようでした。



お問い合わせ先：幌延町成年後見支援センター（幌延町社会福祉協議会内）
幌延町地域包括支援センター（保健福祉課 保健グループ）

電話 5-2090
電話 5-1790

令和2年度幌延町表彰式 ～幌延町の発展に尽力された6氏、1団体を表彰～



※村井虹城氏については、都合により欠席

隔年ごとの文化の日（11月3日）に挙行しています「幌延町表彰式」を、今年は国際交流施設で執り行いました。受賞者および受賞団体は次のとおりです。

【幌延町功勞表彰】

村井虹城氏（公益功勞者）

金田心象書道美術館建設時から、館内展示について陣頭指揮を執られ、また、書道教室および書道研修において、20年以上にわたり講師として数多くの受講者の指導に当たられるなど、教育、文化の振興にご尽力いただきました。

鷺見 悟氏（自治功勞者）

平成7年5月から平成31年4月まで通算20年間にわたり幌延町議会議員を、昭和62年7月から平成28年6月までの通算11年間にわたり幌延町農業委員会委員を務められ、地方自治の振興に多大な貢献をされました。



庄司金八氏（自治功勞者）

平成14年7月から現在までの18年以上にわたり幌延町農業委員会委員を務められ、地方自治の振興に多大な貢献をされました。



番坂啓介氏（自治功勞者）

平成2年10月から平成30年9月までの28年間にわたり幌延町教育委員会委員を務められ、地方自治の振興に多大な貢献をされました。



芳野福一氏（自治功勞者）

昭和59年10月から現在までの36年以上にわたり幌延町固定資産評価審査委員会委員を務められ、地方自治の振興に多大な貢献をされました。



【幌延町貢献表彰】

田中徹男氏（教育、文化貢献賞）

10年間にわたり幌延町文化協会会長を、52年以上にわたり幌延ほおずき俳句会事務局長を務められるなどしたほか、4年以上にわたり幌延町教育委員会教育長を務められ、教育、文化の振興に貢献されました。

【幌延町善行表彰】

北都道路株式会社

公益のため、金員を寄附されました。（庁舎落成祝・地域貢献の一環として）

お問い合わせ先：総務財政課 総務グループ 電話 5-1111 告知端末機 5-8811

認定こども園、へき地保育所でおゆうぎ会が、
各小中学校で学芸会・学校祭が開催されました



演劇「ちよつとメロス」



舞踊発表「創作エイサー」



3年生合唱 課題曲「明日へ」自由曲「正解」

幌延中学校
学校祭

10月25日
(日)

幌延小学校
学芸会

10月11日
(日)



1年生遊戯「マスカット」



3年生遊戯「ともよ」



6年生劇「タピオカ・ツンドラ」



落語「桃太郎」



民舞「よつちよれ2020」



器楽「POWER」

間寒別小中学校
学芸会

10月4日
(日)

認定こども園
おゆうぎ会

11月14日
(土)



にじ組「学園天国」



そら組「なかよし忍者」



ほし組「おおかみと七ひきの子やぎ」



なかよし忍者



キッチンレディー



うんこよせこいソーラン

間寒別へき地保育所
おゆうぎ会

10月17日
(土)

定書」の履行状況に係る確認について

(2) 情報公開・情報発信・理解促進について

- ・原子力機構は、新たな情報発信の取り組みとして、前年度の研究成果報告や新年度の研究計画の説明会の様子をライブ配信するとともにYouTubeに配信したほか、センター併設の展示施設「ゆめ地創館」の館内案内動画のホームページ公開や幌延町広報誌「ほろのべの窓」での情報発信などを行っていること。また、引き続きプレス発表やインターネットを活用した情報発信など広報に取り組むこと。
- ・幌延深地層研究センターの研究の目的と得られる成果を施設見学会や地域の説明会における資料などにおいて具体的に示す工夫をすること。
- ・地域の説明会などにおいて、原子力機構の外部評価委員会での評価や、研究の推進に関することとして地層処分を取り巻く国などの活動状況について報告すること。
- ・幌延深地層研究センターが、なし崩し的に処分場になるのではないかとの懸念に対し、そうしたことになり得ないことを広く理解いただけるよう、今後、地域の説明会において処分場の選定プロセスとの違いなども紹介していくこと。
- ・分かりやすい広報資料の作成に向け、外注や広報部署との連携を検討していくこと。
- ・原子力機構の情報公開の取り組みについて、リスクコミュニケーションの専門家や科学ジャーナリストの方などとも相談し、常に改善し、実行していくこと。

4. 安全確保などについて

(1) 安全管理について

- ・原子力機構は、万が一の坑内火災などに備え、訓練の拡充を行うとともに、火災発生時の対応要領などの再確認などを実施し、ホームページで公表していること。
- ・地震発生時の地下に設置した地震計の観測データをホームページで公開していること。

5. 三者協定との整合性について

(1) 第二条（研究実施区域に、研究期間中はもとより研究終了後においても、放射性廃棄物を持ち込むことや使用することはしない。）について

- ・原子力機構は、令和元年度に放射性物質を利用した試験研究は行っておらず、令和2年度もないこと。放射性物質を用いた研究は、茨城県にある原子力機構の核燃料サイクル工学研究所で行っており、幌延深地層研究センターとの役割分担と連携により必要な成果をあげていること。

(2) 第三条（深地層の研究を放射性廃棄物の最終処分を行う実施主体へ譲渡し、または貸与しない。）について

- ・現時点で、高レベル放射性廃棄物に係る最終処分事業を実施する原子力発電環境整備機構(以下、NUMO)との共同研究について、具体的に決まったものはないこと。仮にNUMOと共同研究を実施する場合でも、NUMOへの譲渡や貸与を行わないことを前提に原子力機構が主体となり、原子力機構の研究目的や課題と整合し、原子力機構の責任において研究施設を運営・管理すること。

(3) 整合性全般について

- ・令和元年度の研究成果および令和2年度の研究に関し、三者協定に反するものはないこと。

6. 地下500mにおける研究の検討について

(1) 地下500mでの研究について

- ・原子力機構は、地下500mでの研究を実施するかどうかについて検討するのは、内部で議論した結果、必須の課題の研究を進め、技術基盤を整備していくために有効な可能性があるかと判断したためであること。
- ・今年度、地下500mでの研究などを実施するかどうかについて判断材料を集めるための設計を開始し、その検討を踏まえ、今年度中を目途に実施するかどうかを判断すること。
- ・実施については「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」の研究課題の範囲内であることを前提に、令和2年度以降の研究期間の研究工程におさまるかといった観点から判断すること。
- ・判断した内容、理由などについては、北海道および幌延町が開催する確認会議において説明すること。

なお、三者協定の履行状況に係る確認結果の通知にあたり、引き続き三者協定遵守のうえ、幌延深地層研究計画を着実に進めていただくよう原子力機構へ求めました。

「幌延町における深地層研究に関する協

今年度、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下、原子力機構）から提出のあった『幌延深地層研究計画 令和2年度調査研究計画』および『幌延深地層研究計画 令和元年度調査研究成果報告』について、幌延町における深地層の研究に関する協定書（以下、三者協定）第14条に基づき設置する「幌延深地層研究の確認会議」（以下、確認会議）による内容確認結果を踏まえ、三者協定に則り幌延深地層計画が進められていることについて確認したことを原子力機構へ通知しました。

幌延深地層研究計画の内容確認にあたっては、令和2年8月31日（月）、10月16日（金）、10月23日（金）に確認会議を開催し、原子力機構に対し、構成員である北海道、幌延町、専門有識者から質疑を行う形で確認を行いました。確認した事項の概要については、次のとおりです。

【確認会議で確認できた主な内容】

1. 研究成果および研究計画について

- (1) 令和元年度の研究実績について
 - ・令和元年度は、「令和元年度（平成31年度）計画書」のとおり、3つの必須の課題について研究を行い、令和2年2月および3月に行われた深地層の研究施設計画検討委員会における外部評価結果も踏まえ、昨年度の確認会議で説明した令和元年度までの成果を得たこと。これにより、令和2年度以降の研究計画に、新たに明確になった研究課題はないこと。
- (2) 令和2年度の研究計画について
 - ・原子力機構は、令和2年度の研究は「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」および「令和2年度調査研究計画」のとおり開始しており、遅れは出ていないこと。
 - ・新型コロナウイルスの影響による大きな問題は発生していないこと。
- (3) 研究評価の状況について
 - ・原子力機構は、外部評価の意見とその対応については、ホームページで公開していること。今後、公開する際には、評価の状況を北海道および幌延町へ報告すること。
- (4) 年度ごとの研究の進捗状況について
 - ・原子力機構は、研究計画に対する研究課題の進捗状況がわかるよう、研究課題毎にどのような成果を出しているのか、また、研究課題間の関連性はどうなっているのかなど、計画書の策定などにあたっては、より分かりやすい資料の作成に努めること。

2. 研究終了後の埋め戻しについて

- (1) 研究終了後の埋め戻しについて
 - ・原子力機構は、令和元年度に開催した確認会議において「国内外の技術動向を踏まえて、地層処分の技術基盤の整備の完了が確認できれば、埋め戻しを行うことを具体的工程として示す」としているが、研究終了後の埋め戻しの考え方について、令和元年度から埋め戻しを行っている原子力機構の研究施設である瑞流超深地層研究所の例とともに、埋め戻し方法や工事期間、周辺環境のモニタリングなどの一般的な事例を整理し、令和3年度の確認会議で示すことを検討すること。
 - ・埋め戻しは、幌延深地層研究センターの地下研究施設の建設時に発生した掘削土（ズリ）で行うこととしているが、土の性状は経年変化する可能性があることから、今後、埋め戻しの検討において考慮すること。

3. 情報公開などについて

- (1) 前年度成果と年度計画の報告について
 - ・原子力機構は、令和3年度以降の地域における報告会の説明資料作成にあたっては、道民がイメージしやすい表現を用いるなど、受け手側を考慮した資料作りに努めること。
 - ・確認会議において、前年度の研究成果をより早期に確認するため、例年、新年度計画の提出より後となっている前年度の研究成果については、令和3年度以降、一部見込みになる部分もあるが、新年度の研究計画の提出の際に提出すること。
 - ・令和3年度以降の計画書の作成にあたっては、当該年度の研究内容と前年度の研究とのつながりを意識するよう努めること。

幌延町ふるさと納税の返礼品について紹介します(その2)

広報誌11月号に続き、町内の特産品を使ったふるさと納税の返礼品をご紹介します。

今秋、新しく「幌延産和牛」と幌延泥炭を使用した洗顔パック「SARORO PEAT WASH (サロロ ピートウォッシュ)」が返礼品に加わりました。なお、下記返礼品のほか、秘境駅の里「ほろのべ」グッズ、サロベツ合鴨の加工品、トナカイ缶詰、新幌延町史などがあります。町外のご親戚やご友人にご紹介いただければ幸いです。



NEW!!

幌延町内の農家さんが育てた
「幌延産黒毛和牛」



NEW!!

泥炭を使用した洗顔パック
SARORO PEAT WASH



青いケシの種
(苗もあり)



秘伝タレでつけた
「幌延ジンギスカン」



「サロベツ合鴨そばセット」



トナカイ
角細工セット

※上記の返礼品は町内で購入できます。購入可能店舗については、下記までお問い合わせください。

ふるさと納税の申し込み方法

- ・町HPから「ふるさと応援寄附申込書」「返礼品申込書」を印刷し、企画政策課へ郵送かメールで申し込む
- ・ふるさと納税専用ウェブサイトで申し込む



楽天ふるさと納税



ふるさとチョイス

QRコードはこちら→

お問い合わせ先：企画政策課 企画政策グループ 電話：5-1114 告知端末機：5-8814

令和2年度 町政懇談会を開催しました

令和2年度の町政懇談会は、10月8日から14日の間で地区ごとに7回開催し、49名の町民の方のご参加をいただきました。

町からは「町有霊柩車について」、「幌延深地層研究計画について」、「新天塩大橋の開通について」、「問寒別地区における地域交通車両の試験運行について」の4項目について説明し、ご意見、ご質問をいただきました。その後、町政全般について懇談をしました。

参加者の皆さんからいただいたご意見、ご要望などについて、いくつか抜粋してご紹介します。なお、懇談会でお答えできなかったものについては、改めて広報誌などでご紹介いたします。

◆町有霊柩車について

町有霊柩車の老朽化や運転手の確保が難しい現状から、令和3年度から廃止を検討していることについて説明しました。

Q 送迎バスは継続するのか。

A 送迎バスについては、今まで通り運行する考えです。

Q 民間の葬儀社の霊柩車を使う場合、経費はどのくらいか。

A 現在主に幌延町に入っている稚内の2社に確認したところ、幌延町での霊柩車使用については、5万円から6万円で運行してくれるとの回答をいただいています。

Q 今まで無料だったものが有料になるといって、町から何らかの助成なりをしてくれるということか。

A 負担が増えることに対し、何らかの軽減策を検討しています。

◆幌延深地層研究計画について

令和2年度の確認会議での内容を報告しました。

Q 5百メートルまでの掘削について、令和2年度中に決定するということか。

A 研究期間内で収まる施設規模や予算などの調査設計を行い、その結果を踏まえて、今年度中に判断すると原子力機構から回答を得ています。

Q 神恵内村と寿都町で文献調査受け入れを表明している。幌延は三者協定で研究施設は処分場としては使われないといっているのに、変える意思はないと思うが、再度確認したい。

A 幌延での研究は、三者協定を遵守したうえで、(放射性廃棄物を)持ち込

むことも処分することもしないことを大前提に研究を実施していきますので、ご理解いただきたいと思います。

Q 5百メートル坑道まで、あと50メートル掘るとなれば、幌延の雇用も若干は発生するだろうし、地域経済の底上げにもなる。5百メートルまでの掘削をやるよう、町長には強く望んでほしい。

A 思いは同じで、その旨を関係機関に対してこれまでも申し上げています。また、研究課題に対し、研究期間の中でしっかり成果を出していくことを確認しています。5百メートルの坑道建設に関しましては3百50メートル調査坑道での研究を踏まえ、判断することを確認しています。

◆新天塩大橋の開通について

国道40号天塩防災事業において、新しい天塩大橋が完成したことから、10月30

日に通行が切り替わることについて説明しました。

Q 元の天塩大橋の所の信号機は、道道との交差点に移設するのか。

A 道道を横断する交差点については、一時停止になると聞いています。信号機については移設しないと聞いていますので、現在の信号機はその先の道路が廃道となることから、無くなります。



Q 全部出来上がるのは、いつ頃になるのか。

A 雄信内の市街に入るま

だが天塩防災事業で、まだ道路整備箇所が地固めをしている状況です。あと数年はかかると思います。

Q 問寒別は名寄方面へ行くことが多い。こちらの道路はいつ開通になるのか。

A トンネルの開通が見えてきたので、ある程度は目途はたったと聞いていますが、国の予算配分の関係もあり、現時点では名寄できないようです。

◆問寒別地区における地域交通車両の試験運行について

10月2日から問寒別地区で問寒別診療所や郵便局などへの送迎する地域交通車両の運行について説明しました。

Q 地域おこし協力隊員が運転をするということだが、資格とかは持っているのか。

A あくまで試験運行として、料金を徴収せず、資格

を持たずとも運行出来る範囲の中で行っています。

Q 地域交通車両と患者輸送車の関係はどうなのか。

A 地域交通車両の試験運行は、問寒別地区内で行うもので、患者輸送バスの運行とは別に行います。来年3月まで試験運行を行う中で、その後の運用の形を検討するため、ご意見をいただきながら試験運行を進めることとなります。



◆町政全般について

Q 9月に大雨警報、洪水警報、土砂災害危険情報が、テレビで何回も出た。幌延

の名もあつたが、町からは何の周知もなかった。自治体の指示に従って避難する準備をするようにテレビでは言っていたが、町はどういう対策をとったのか。

A あの時、幌延町に土砂災害警戒情報「レベル4」というのが気象庁から出され、すぐ職員を集めて災害対策本部を立ち上げました。気象庁に問い合わせたところ、警報情報が出ているのは上幌延地区と開進地区だけということでしたので、今回はその地区を対象に生涯学習センターに避難所を設置し、避難住民情報というものを発令し、対象である上幌延と開進地区のみに告知端末でお知らせしました。地区が限定されていたので、対象地区以外には告知端末でお知らせしなかったということでした。

Q 他の人は何も分からない。テレビで一方的に危ないから逃げる準備をしろと言われても、どうしたらいいか分からない。ああいう

時は、全町に1回、状況を流してほしい。

A 今後の告知の仕方を工夫します。

Q バイオマス構想は、その後どうなっているのか。

A 昨年度の調査で、幌延町が整備を目指す小規模循環型プラントに関する、ある程度のデータは収集できたので、今年度は酪農家ヒアリングを実施する予定でしたが、コロナの影響があり調査実施できていない状況です。今後、状況を踏まえつつ、説明の機会を設けたいと考えています。

Q 広報を見ると、ふるさと納税関連のお金が幌延にも1千5百万円くらい入ってきているようだが、全道の市町村で幌延はどのくらいにランクされているのか。

A 下位にランキングされており、魅力ある返礼品設定がまだまだできていないと感じています。海産物や

牛肉などを返礼品とする自治体では、寄付金を大きく伸ばしているようです。今後の対応としては、ふるさと納税を扱うインターネットサイト掲載を1カ所から2カ所へ増やすことにより、多くの方へ幌延町の取り組みを周知することを予定しています。

Q 告知端末を流す回数、内容などについて整理すべきではないか。毎日、朝昼晩流れているものや、6時の定時放送が終わってから6時半に流れるといったことも、最近あった。定時以外は、緊急のものが流れるという判断で町民はいる。どこかで線を引いてもらいたい。朝昼晩、同じようなものが本当に必要なのか。

A 内部でしっかり検討します。

Q 道の駅の話は進んでいるのか。

A 創生会議などにおいて議論していますが、今年度

はコロナの影響で話し合いの場が設けられていない状況です。昨年度までの検討では、町民が利用しやすいよう、街中に施設があったほうが良いとの意見や、町民に求められる機能を持った施設であるべきといった大枠での施設の在り方の方性は整理しています。



Q 春の農道の除雪で、砂利が畑に入っている。昔は石取りをしてくれたのだが、今はしてくれない。また、前は道路ぎわの、畑のない側に雪を飛ばしてくれていた。

A 以前と中身は変わっていないが、今一度、委託業者に畑の石を見つけた場合は、以前のように拾って対応していただくように伝えます。

Q 来年3月に安牛と上幌延の駅が廃駅になるが、南上幌延とか下沼、糠南は何年頃まで町で管理できるのか。

A 何年ということはないかなと言えません。JRも今の経営状況下では経費削減をするしかないことから、我々としても駅を残したい思いはありますが、合理化をしないではならない事情も一定程度理解しています。ただ、他の市町村と違ってローカルバスが通っていない幌延町においては、何とか交通体系を維持したいとの考えもあります。普通列車の運行存続が駅を残す一つの要因となりますので、状況がよほど急変しない限りは維持に向け、当面は頑張りたいと思っています。

Q 名林公園の木について、どの木を切るという基準はどこにあるのか。電線があるとか、誰が見ても危険な所を切るべきだったのでは。

A 老木が結構多いということと道立林業試験所に調査してもらい、外見は大丈夫だけれど、診断装置を使って中がどうなっているかという調査の結果、今年9本が、倒れる危険性が大きいということ、処分しました。去年、名林公園内の管理計画を作成し、それに基づいて毎年樹木診断してもらいながら、危ないものは切っています。

Q 冬期預託牧場が幌延町にはない。今まで町外の施設に預託していたが、そこも規制がかかってきて、もう預かってもらえないというふうなこともあった。町で何とかできないか。

A 将来的には考えていかないとならないと思っています。この先どうすべきか、皆さんに考えていただき、

希望があれば農協とも相談をしながら、そういった牧場をやっていく必要があるだろうと話をしています。来年度に向けて調査をし、どういうことができるか考えています。

Q こざくら荘で建設中のものは何かとよく聞かれる。何を建てているのか。

A 西天北五町衛生施設組合において、紙おむつの資源化ということで、平成27年度くらいから木質バイオマスの剪定枝と合わせてペレット燃料をつくる検討をし、昨年度から工場を建設しています。そのペレット工場が完成しますので、ペレットを試験的に燃やすポイラーを、こざくら荘に作っています。今年度完成し、来年度は試験燃焼をしたいと考えています。



第6回 幌延町議会 (臨時会)

第6回幌延町議会(臨時会)は、10月19日に開会され、議案1件を原案どおり可決し、同日閉会しました。議決された案件は次のとおりです。

▽議案第1号

令和2年度幌延町一般会計補正予算(第5号)

補正の内容は、歳出のグループホーム建設支援事業の363万円増、幌延町総合体育館改修工事実施設計業務の798万6千円増などです。

令和2年度 補正予算額 (単位：千円)

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計	5,521,422	14,520	5,535,942

幌延深地層研究センターについて

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）幌延深地層研究センターは、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発を行っています。

1. 地下施設整備の状況【図1、現在：維持管理中】

- ・立坑掘削深度：東立坑380m、換気立坑380m、西立坑365m
- ・水平坑道掘削長：深度140mの調査坑道186.1m、深度250mの調査坑道190.6m、深度350mの調査坑道757.1m

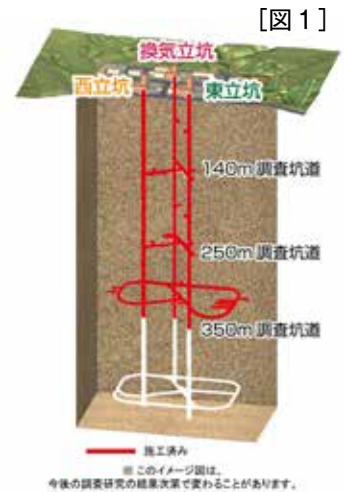
※令和2年度は、地下施設にて第3期中長期計画に掲げた次の3つの課題達成に向けた調査研究を進めます。

- (1) 実際の地質環境における人工バリアの適用性確認
- (2) 処分概念オプションの実証
- (3) 地殻変動に対する堆積岩の緩衝能力の検証

※稚内層深部（500m深度）における研究に関する検討について

令和2年度以降の研究成果を最大化するため、稚内層深部での研究の実施について判断材料を集めるための設計などを行っています。

「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」の研究課題の範囲内であることを前提とした上で、設計の結果などを踏まえ研究期間が「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」を前提とした研究工程におさまることや、技術基盤の整備により一層寄与できることを観点として今年度内を目途に判断をしていきます。



【図1】

2. 施設見学について

- ・ゆめ地創館：公開時間 午前9時～午後4時
定休日 毎週月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合は水曜日）、年末年始（12/29～1/3）
- ・ゆめ地創館来館者数：1,974名（令和2年6月～9月末）
※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点より令和2年2月末～5月末まで臨時休館。
- ・地下施設見学会：例年4月から10月の第4日曜日に実施しています。来年度も予定しており、地下を体験できる貴重な機会です。ぜひご参加ください。
- ・地域の皆様を対象とした施設見学会：令和2年度は幌延町および近隣市町村の皆様を対象とした施設見学会を10月～3月の第3水曜日に実施しています。

3. ホームページ

幌延深地層研究センターのホームページでは、地下施設や調査研究の状況を適宜掲載しています。

◇ホームページURL：https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/index.html

4. 幌延深地層研究センターによる幌延町への経済効果

幌延深地層研究センターが平成13年に開所してから毎年度、地元への経済効果についてお知らせしています。同センターおよび関係機関から確認をとった平成31年度の実績は以下のとおりです。

このほか、同センターの地元雇用、従業員などの町内消費、町税収入、電源立地地域対策交付金などがあります。

5. 原子力立地給付金の交付について

電気料金の値上げなどに対する生活支援の観点から、電源立地地域対策交付金制度に基づき、交付金の一部を給付金として交付しています。

◇給付対象施設：幌延深地層研究センター

◇対象者：幌延町で令和2年10月1日現在、小売電気事業者と電気受給契約のある方（一般家庭における従量電灯や時間帯別電灯の契約）

◇交付金額：電灯契約1口あたり 8,100円

◇交付方法：電気料金振替口座への振り込みなど

◇交付時期：令和2年11月下旬以降

6. 幌延深地層研究計画に関する協定および条例について

北海道、原子力機構、幌延町の三者で締結した「幌延町における深地層の研究に関する協定書（三者協定）」と幌延町議会の議決を経て施行した「深地層の研究の推進に関する条例（町条例）」を順守して研究を進めています。

○平成31年度経済効果

職員および家族の人数		職員等53名 家族22名	
機 構 発 注	工事請負、業務委託、 物品購入、借上、その他	85百万円	
	社宅・寮賃貸借契約	57百万円	
機 関 発 注	↓ 共同研究	工事請負、業務委託、 物品購入、借上、その他	193百万円

「地下の研究現場から」第6回－幌延町の地下に生き物がいる？

私たちの行っている研究について、広くご理解いただくために幌延町広報誌「ほろのべの窓」の紙面をお借りして町民の皆さんをはじめ、ご愛読者様に研究内容についてご紹介させていただきます。

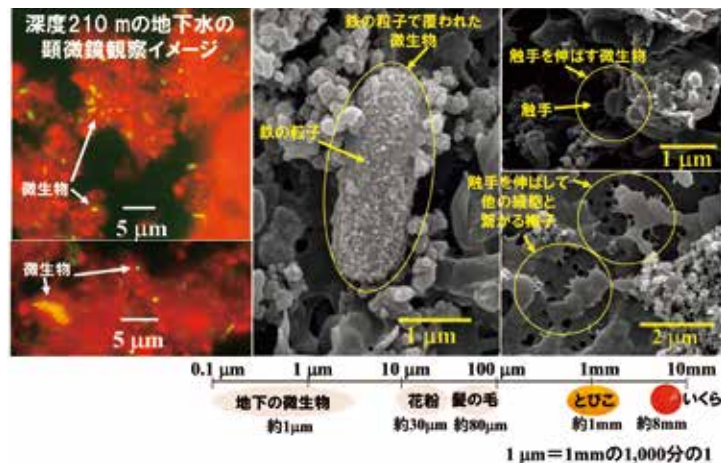


幌延深地層研究センターでは、地下環境に関わる様々な研究開発を行っています。地下深くの生き物のはたらきや、生き物が「ものの動き」とどのように関係するのかを調べています。今回は、幌延町の地下深いところの生き物について分かってきたことを紹介します。

地下には太陽の光が届かず、酸素も存在しません。私たち人間が食べているような穀物や肉などもない、硬い岩石でできた空間です。ところが、地下深いところにもたくさんの生き物が住んでいることが分かってきました。その生き物は、「微生物」という、肉眼では見ることのできない小さな生き物です。微生物は、酸素のない地下でも生きることができるのでしょうか？

実は、地下の多くの微生物は生きるために酸素を必要としません。それどころか、酸素に触れると死んでしまうものもいるのです。これらの微生物は、酸素の代わりに二酸化炭素・窒素・鉄・硫黄などを使ってエネルギーを得ています。中には、酸素があってもなくても臨機応変に生き方を変えて増殖できるすごい微生物も存在しています。

幌延町の地下深いところでも様々な微生物が観察されています（写真）。ここでは、細胞から触手のようなものを伸ばして、仲間と繋がりながら拡大していく微生物や、鉄の粒子を鎧のようにまとった微生物など、変わった形態のものがたくさん見つかっています。どうして鉄で覆われているのか、どうやって仲間とコミュニケーションを取って細胞を繋げているのかなどは、まだよく分かっていません。興味深いことに、幌延町の地下には、新種の微生物が全体の半分以上を占めているのです。



幌延地下から採取した微生物の蛍光顕微鏡および電子顕微鏡写真

大きさや形は様々で、細胞が鉄の粒子で覆われた微生物、細胞から触手を伸ばして仲間と繋がりバイオフィームという生物膜をつくる微生物などが見つかっています。

謎だらけの微生物ですが、身近な例ではビールや洗剤、バイオ燃料の製造など様々な産業で利用されており、幌延町の地下を詳しく調べることで、私たちの暮らしの役に立つ微生物を新発見できるかもしれません。来月は、地下水の流れ方について紹介する予定です。

お問い合わせ先：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

幌延深地層研究センター：電話・告知端末機：5-2022 <https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/>

ゆめ地創館：電話・告知端末機：5-2772 <https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/yumechisoukan/index.html>

広報調査等交付金事業

地域おこし協力隊通信

vol.60

集落支援担当 中井正幸隊員



問寒別で過ごす初めての冬。水道管が凍結しないかビクビクしている地域おこし協力隊の中井です。時期は少し戻って、9月26日（土）に上幌延、開進地区合同で「ご近所交流会」と銘打ったイベントを開催させていただきました。

ひと昔前と比べ、同じ町内会の会員同士が集まる機会が減少していることに加え、特に今年は新型コロナウイルスの影響もあり、地域行事が軒並み中止になってしまいました。「隣近所の人と会う事がなくなって寂しい」というお声を聞き、コロナ対策をしっかりと行ったうえで地域の方々に協力していただき、イベントを企画しました。

交流会当日は20名（内地域住民13名）が参加し、まず幌延町映像ライブラリーに収録されている約40年前の幌延の様子を映した映像の上映会をしました。参加者の皆さんは、昔を懐かしみながら思い出話に花を咲かせていました。（上映した映像は幌延、問寒別の生涯学習センターで視聴できます）

お昼は、参加者に作っていただいた特製の豚汁とお漬物、協力隊のミルク焼きそばの試作品などを食べ、楽しい時間を過ごしました。近くに住んでいながら、なかなか会う機会も無く、数年ぶりに会ったという方もいました。

今回のような交流会を町内各地で開催したいと考えております。ご要望などございましたらお声がけいただければ幸いです。



「上幌延・開進ご近所交流会」に参加された皆さんと

観光振興担当 貞廣拓哉隊員



地域おこし協力隊の貞廣です。今年も残すところわずかとなりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。私は道産子なので寒さには慣れていますが、幌延で過ごす冬は初めてで不安と楽しみが入り混じっています。

広報誌9月号の協力隊通信で紹介した、サロベツ原野の魅力を発信する「ほろのべ・サロベツ 花*NEWS（以下、花*NEWS）」は、今年のお花観察シーズンを終えたことにより、定期発行を一時終了とさせていただきます。幌延町ホームページでの紹介や生涯学習センターなどでも掲示させていただきました。特にサロベツ原野が好きで、毎週の定期観察がとても楽しく、「この瞬間が一度きり」と思いながら観察・撮影をしてきましたが、少しでもその瞬間の素晴らしさを皆さんにお伝えすることができていれば幸いです。

花*NEWSの発行にあたり、多くの方にご協力いただき、本当に感謝しています。その中でも幌延町生涯学習アドバイザーの富士元寿彦さんには、お花の種類の確認や撮影方法など多くのことを教えていただきました。来年はより多くの町民に関心を持ってもらえるよう、パワーアップした花*NEWSを発信したいと思います。来年はどんな風景が見られるのか、今からとても楽しみです！



多くの方が幌延ビジターセンターを訪れていました

お問い合わせ先：（集落支援）地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」
（観光振興）企画政策課 企画政策グループ

電話・告知端末機：9-7367
電話 5-1114 告知端末機 5-8814



まちの話題



10月31日

宗谷の小学生 トナカイに触れて楽しむ

宗谷管内の観光施設をJRとバスで巡る「子ども鉄道&バス旅in宗谷」(宗谷本線活性化推進協議会主催)に参加した小学生20名が、幌延町のトナカイ観光牧場を訪れ、牧場見学やトナカイとの散歩などを楽しみました。また参加者には、トナカイ角で作ったバッジがプレゼントされました。



9月26日・27日

10月24日・25日

幌延・問寒別 町民文化祭

幌延町民文化祭が9月に国際交流施設で、問寒別町民文化祭が10月に問寒別生涯学習センターでそれぞれ開かれました。会場には各サークルや一般参加者の作品の、木工や焼き物、手芸、絵画作品などが並んだほか、幌延町手打ちそば愛好会、問寒別手打ちそば愛好会の打ったそばが来場者に振る舞われるなど、会場が賑わいました。



10月26日

天塩地区暴力追放 運動推進協議会 常任理事の高橋氏が表彰されました

天塩地区暴力追放運動推進協議会 常任理事の高橋秀明氏に北海道警察本部長および北海道暴力追放センター会長の連名による表彰状が贈られました。この表彰は多年にわたる暴力追放活動の功労が讃えられたものです。



10月15日

10月20日

秋の全道火災予防運動

10月15日～31日の秋の全道火災予防運動に併せ、北留消防組合幌延支署が10月15日に幌延と問寒別で防火パレードを、幌延町女性防火クラブが20日に町内で啓発物を配り、火の用心を呼びかけました。



12、1月の運転免許更新時講習のお知らせ

開催月日	開催場所	初回更新者講習 (2時間)	優良運転者講習 (30分)	普通運転者講習 (1時間)	違反運転者講習 (2時間)
12月1日(火)	天塩町社会福祉会館		13:00~		
12月12日(土)	豊富定住支援センター「ふらっときた」		13:00~	14:00~	15:30~
12月19日(土)	遠別町生涯学習センター「マナピィ21」		13:00~		
1月13日(水)	天塩町社会福祉会館	10:00~	13:00~	13:45~	15:00~
1月14日(木)	幌延町消防署2階		18:30~		
1月16日(土)	遠別町生涯学習センター「マナピィ21」		13:00~		

情報

インフォメーション

年末年始の公共機関等休業 12/30(水)~1/6(水)

機関・施設名	12/30 (水)	12/31 (木)	1/1 (金)	1/2 (土)	1/3 (日)	1/4 (月)	1/5 (火)	1/6 (水)
役場 問寒別出張所 認定こども園 問寒別へき地保育所 農村環境改善センター(保健センター) 国民健康保険診療所(※1) 患者輸送車 幌延町移住情報PR支援センター「ホロカル」(※2)		休	休	休	休	休	休	
幌延町生涯学習センター 問寒別生涯学習センター 総合体育館 問寒別地域交通車両(※3)	休	休	休	休	休	休	休	休
金田心象書道美術館 町立歯科診療所(※4) スクールバス(幌延地区・問寒別地区)(※5)	休	休	休	休	休	休	休	
東ヶ丘スキー場 ごみ・し尿収集業務(※6)		休	休	休	休			
老人福祉センター 公衆浴場(※7)	休		休	休				休

- ※1 休診日でも救急患者を受け付けします。
- ※2 休業期間中は、町民乗車票の販売を行いません。
- ※3 運行は毎週金曜日で、年内は12/25まで、年明けは1/8からです。
- ※4 12/29の午後から休業します。
- ※5 1/6の運行は、問寒別地区のみです。
- ※6 事務業務については、1/6から開始します。
- ※7 12/31の営業は、午後1時から6時まで(最終受付は午後5時まで)です。

令和3年 幌延町新年交礼会中止のお知らせ

令和3年1月6日(水)に開催を予定しておりました「幌延町新年交礼会」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、参加者および関係者の皆様の健康と安全面を考慮した結果、中止とさせていただきますことになりました。

ご参加を検討いただいていた皆様には、ご迷惑をおかけすることとなり大変申し訳ございません。何とぞ、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

幌延町長 野々村 仁
幌延町商工会長 松永 継男

＝12月は“町税等の徴収強化月間”です！＝

町は、12月を「町税等徴収強化月間」と定め、町税（道町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）および使用料（介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料、町営住宅料、水道料、下水道料、医療費）の徴収強化に取り組みます。

【徴収強化の取組】

●納付相談

町税および使用料を納期限内に納めることが難しい方の相談を随時受け付けていますので、ご相談ください。

●催告と訪問徴収

納期を過ぎても納付されていない方には、文書・電話による催告、自宅や勤務先へ訪問します。

●滞納処分等の強化

町税および使用料の滞納者で、完納に向けた納付意思が認められない方、納付誓約を守らない方などに対し、勤務先への給与調査、官公署や金融機関への財産調査などを実施し、差押などの滞納処分を行います。

【納付書をご確認ください】

お手元の納付書などをご確認いただき、まだ納付していない町税および使用料がありましたら、お早めに納付ください。

なお、納付書が見当たらない場合は、役場までお越しいただくか、電話でお問い合わせください。

【便利で確実な口座振替をご利用ください】

口座振替は、預金口座から町税および使用料が各納期限に合わせて自動的に引落とされますので、日中お忙しい方や不在がちな方に大変便利です。

口座振替を希望される方は、預金通帳と通帳使用印をご持参のうえ、町内の金融機関でお申し込みください。

納付に関する相談は随時受け付けておりますので、お早めにご相談ください。

お問い合わせ先

		電話	告知端末機
・町税	住民生活課 住民グループ	5-1112	5-8812
・後期高齢者医療保険料	住民生活課 生活グループ	5-1112	5-8812
・介護保険料	保健福祉課 福祉グループ	5-1113	5-8813
・町営住宅料、水道料、下水道料	建設管理課 管理グループ	5-1116	5-8816
・保育料	認定こども園	5-1254	電話と同じ
・医療費	幌延町国民健康保険診療所	5-1221	電話と同じ

気象台一口メモ

宗谷地方初の 震度5弱から1年

令和元年12月12日01時09分に発生した“宗谷地方北部を震源とする地震”から1年が経ちました。この宗谷地方初の震度5弱を経験するまで、「宗谷地方には大きな地震は来ない」と思っていた人もいたのではないのでしょうか。

宗谷地方には「サロベツ断層帯」という活断層があります。この活断層は、日本の主な活断層の中では30年以内に地震が発生する可能性が高いと評価されており、最大震度6強以上という宗谷地方では経験したことのない強い揺れが想定されています。2年前の『平成30年北海道胆振東部地震』を思い出すまでもなく、かなりの被害を受けることが想像できます。

自分や家族の命を守るためにも、何も起きていない今のうちに備えることをお勧めします。また、これから冬本番を迎える時期ですので、寒さ対策についても備えておくとう良いでしょう。

○**基本的な備え**…家具・家電などの耐震固定、避難経路・避難場所の確認など

○**停電対策**…懐中電灯、ラジオ、乾電池、モバイルバッテリーなど

○**非常食等**…食料、飲料水、カセットコンロおよびボンベなど

○**寒さ対策**…防寒着、使い捨てカイロ、毛布や断熱シートなど

○**その他生活に必要なもの**…薬、眼鏡など

お問い合わせ先: 稚内地方気象台 電話: 0162-23-2679

十月定例俳句会作品

秋冷や草地に堆肥匂う里
秋冷の身振るいひとつしておきる
カーテンを厚手に更る秋の冷え
秋冷や耳には調べ目にしづく
黄に染めて秋冷やかに山降りぬ
秋冷の水こんと秘境駅

幌延ほおずき俳句会

横山 貞雄
小玉 利治
富樫 堅一
富樫 とも子
田中 順子
田中 徹男

特集・令和2年を振り返ろう

今年には新型コロナウイルスが全国的に猛威を振るい、3月から5月にかけては各学校が休校になったり、名林公園まつりなどのイベントが中止になったりする、例年とはちよつと違った1年となりました。

1月

▼5日

成人式

消防幌延

分団出初式

▼6日

新年交礼会

▼12日

消防問寒別分団出初式

▼13日

子ども会新春かるた大会

▼26日

ミニバレーボールフェスティバル

2月

▼11日

ほろのべ雪ん子まつり

▼16日

フットサル大会

▼22日

スキー大会



雪ん子まつり



消防団出初式

3月

▼8日

幌延中学校卒業式

▼15日

問寒別中学校卒業式

▼19日

幌延小学校卒業式

▼25日

認定こども園卒園式

▼26日

問寒別へき地
保育所卒所式

4月

▼1日

認定こども園入園式

▼2日

問寒別へき地保育所入所式

▼6日

各小中学校入学式



幌延中学校入学式



幌延小学校卒業式

5月

▼14日

入牧

テシオコザクラ観察会中止

6月

▼19日

問寒別小学校遠足

▼24日

幌延小学校遠足



問寒別小学校遠足



テシオコザクラ



7月

▼ 1日 交通安全祈願祭

▼ 15日 幌延神社例大祭（神輿渡御中止）

▼ 18日 幌延中学校リサイクル資源回収

▼ 21日 第6次総合計画ワークショップ

▼ 問寒別神社例大祭中止

▼ おもしろ科学館中止



9月

▼ 長寿まつり中止

▼ 5日 幌延小学校大運動会

▼ 6日 問寒別町内会対抗ソフトボール大会

▼ 19日 町民マラソン大会

▼ 26・27日 幌延町文化祭



10月

▼ 17日 問寒別へき地保育所おゆうぎ会

▼ 24・25日 問寒別町民文化祭

▼ 29・30日 退牧

▼ 30日 新天塩大橋開通

11月

▼ 3日 幌延町表彰式

▼ 14日 認定こども園おゆうぎ会

▼ エネルギー施設見学会（一般の部）中止



問寒別へき地保育所おゆうぎ会

8月

▼ 名林公園まつり中止

▼ 22日 幌延中学校体育大会

▼ 23日 問寒別ワラベンチャー

▼ 27日 認定こども園運動会（中止）

▼ 30日 問寒別小中学校大運動会

▼ エネルギー施設見学会（児童・生徒の部）中止



問寒別ワラベンチャー



町民マラソン大会



幌延小学校大運動会



認定こども園おゆうぎ会



悩みを解決!

年金Q&A



Q1

「国民年金加入のお知らせ」が送られてきたのですが、どうしてですか。

20歳になったときの加入
手続きは不要になりました

20歳になってから概ね2週間以内に日本年金機構から、国民年金に加入したことをお知らせするため「国民年金加入のお知らせ」の他「国民年金保険料納付書」、「国民年金の加入と保険料のご案内」、「保険料の免除・納付猶予制度と学生納付特例制度の申請書」、「返信用封筒」を送付しています。（「年金手帳」は別途送付されます。）

A1



Q2

20歳になって「年金手帳」が送付されてきました。ねんきんネットはいつから利用できますか。

20歳になってから、1ヶ月以上経過した後に、利用登録を行ってください。
（電子版「ねんきん定期便」の照会や年金見込額試算については、21歳到達月の2ヶ月前に発行される初回の「ねんきん定期便」の情報がねんきんネットに登録されるまでの間は利用することができません。）

A2



Q3

「扶養親族等申告書」はどのような人に送られているのですか。

所得税の源泉徴収の対象となる受給者へお送りしています。
老齢または退職を支給事由とする年金を受けている方のうち、受け取っている年金額が65歳未満で108万円以上、65歳以上で158万円以上ある方に送付しています。
配偶者や扶養親族がない方でも、ご自身が障がい者や寡婦（寡夫）に該当する場合は申告することで該当する控除が受けられます。
また、期限内に提出しないと一旦控除がない状態で源泉徴収されますが、提出することでさかのぼって所得税額を再計算します。（申告書を提出しても確定申告が必要な場合があります。）

A3



Q4

免除されていた保険料は、後で納めること（追納）ができますか。

免除されていた期間の保険料は10年以内のものに限り、後から納付することができますが、老齢基礎年金を受給している方は追納することができません。
（免除期間の翌年度から起算して3年度目以降に追納する場合は、当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。）

A4



Q5

年金を受けていた本人が亡くなったが、年金送金通知書が届きました。どうすればいいですか。

年金送金通知書はゆうちょ銀行の窓口で現金により年金を受け取っている方に送付されていますが、亡くなられた方あての年金送金通知書で遺族の方が受け取ることはできません。
亡くなられた方がまだ受け取っていない年金は、遺族の名前で請求（未支給年金請求）して初めて受け取ることができます。
すでに死亡届を提出しているときには、お手元の年金送金通知書を日本年金機構に返送してください。

A5



町民くらしのカレンダー 12月 (Dec)

注：保セ=保健センター 子セ=子育て支援センター
 問セ=問寒別生涯学習センター 生セ=幌延町生涯学習センター
 東ス=東ヶ丘スキー場

1火	親子サロン 10:30~11:30(子セ)	17木	はつらつ教室 9:45~(保セ) 運動教室Re:Body(筋トレ) 19:00~(保セ)
2水	問寒別にこここ教室 10:00~(問セ) 親子サロン 10:30~11:30(子セ)	18金	
3木	はつらつ教室 9:45~(保セ)	19土	
4金	にこここ教室 9:30~(保セ)	20日	
5土	子ども運動教室(予定) 10:00~11:30	21月	英会話教室 19:00~20:30(生セ)
6日		22火	おてがるクッキング 18:30~(保セ)
7月		23水	東ヶ丘スキー場オープン(予定)
8火		24木	
9水	すくすく健診 13:00~(保セ)	25金	低学年スキー教室/子ども運動教室(予定) 18:30~19:30(東ス) 各学校終業式
10木	プラステンの日(10分多く運動しよう!)	26土	低学年スキー教室/子ども運動教室(予定) 18:30~19:30(東ス) 各小中学校冬季休業(1月12日まで)
11金	【問寒別出張診療日】	27日	
12土		28月	【心療内科・精神科診療日】
13日		29火	こども料理教室(10:00~保セ)
14月	【心療内科・精神科診療日】	30水	役場御用納め
15火	わくわくひろば(つぼみ)10:30~11:30(子セ)	31木	大晦日
16水	ぱくぱくきつず 13:30~(保セ) わくわくひろば(めばえ・わかば) 10:30~11:30(子セ)		



★お悔み申し上げます
 加藤てい子さん(89歳)字問寒別

☆お誕生おめでとう
 藤門 維士くん(父雄哉)字幌延

及川江利子さん
 字上問寒

新保すみれさん
 字幌延

☆ご結婚おめでとうございます

戸籍の窓

10月

◇幌延町社会福祉協議会へ
 (香典返しの一部)
 加藤 敏昭さん(母)字問寒別

ご寄付ありがとうございます
 10月

10月



令和3年 成人式

- 日 時 令和3年1月5日(火) 午後1時30分～
- 会 場 国際交流施設

成人式対象者一覧(掲載に同意いただいた方のみ掲載しています)

No	地区	氏名	No	地区	氏名
1	1条	小室 頼	9	幌延	DAO THI HANG
2		蓮沼 瑛梨佳	10		石川 天音
3	栄町	伊藤 朱里	11		菅野 凌椰
4		岩川 知夏	12		佐藤 ひな
5		岩泉 いちご	13	宮園町 宮下 萌	
6		橋本 颯太	14	東町 戸川 恭輔	
7		細谷 龍聖	15	開進 藤門 あみん	
8		永瀬 由晟	16	中間寒 加藤 巧也	

対象となる方は、

- ① 平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの方で、町内に在住している方。
- ② 上記の期間中に生まれ、町内の学校に在籍していた方で、町内に保護者が在住している方。

《感染予防対策にご協力ください》

- ・成人式に出席を予定している新成人の方は、開催前後2週間の健康チェックをお願いします。
- ・当日、体調不良の方については、出席の自粛をお願いします。
- ・会場入口にサーマルカメラを設置し、検温を行います。
- ・新成人関係者の会場入場予定者については、事前に把握いたしたく、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。(なるべく最小人数での参加にご協力願います)

新型コロナウイルス感染予防対策を講じて実施いたしますが、今後の感染状況により、やむを得ず**中止(延期)**する場合があります。

お問い合わせ先:教育委員会 社会教育グループ 電話:5-1117 告知端末機:5-8817 幌延町生涯学習センター 電話:告知端末機:5-1321



わが家のエンジェル



前田 史津くん
 (令和2年1月25日生・字問寒別)
 お父さん 祐貴さん
 お母さん 彩乃さん
 第4子、吏津です。はいはいやつかり立ちをいち早く覚えて、好奇心のままにいろいろな所に出没します。いつまでも好奇心を忘れずその笑顔でいてね。



前田 絵稀ちゃん
 (令和2年1月25日生・字問寒別)
 お父さん 祐貴さん
 お母さん 彩乃さん
 わが家の第2子、絵稀です。3つ子の中で一番よく食べ、よく寝ます。弟達が上につかってくるまで、たくましく寝ていました。これからは、早く歩くように育ててね。



柏谷 茉莉花ちゃん
 (令和2年3月14日生・栄町)
 お父さん 晃太郎さん
 お母さん 紗希さん
 娘の茉莉花です。食べるのが大好きで、毎日もりもり食べています。日々の成長の早さに、驚きと嬉しさで目が離せません。みんなから愛される子に育ってね。



前田 凧輝くん
 (令和2年1月25日生・字問寒別)
 お父さん 祐貴さん
 お母さん 彩乃さん
 第3子、凧輝です。おもちゃの取り合いでいつも泣いていましたが、最近では笑って遊ぶことが多くなってきました。これからもみんなで仲良く、大きくなろうね。

ほろのべの裏窓

■ついに12月になりました。令和2年も残すところあと1月ですね。
 ■12月といえばクリスマス、年末ですね。皆さんの家にはやってくるサンタさんに子どもたちは何を願っているのでしょうか。そして年末といえば年越しそばですね。毎年何気なく食べている年越しそばには、たくさんの意味が込められているそうです。意味の1つには無病息災があります。そばは風雨にさらされても、日光を浴びると元気になることからきているそうです。
 ■令和2年はコロナが猛威を振るった年なので、今年の年越しそばは無病息災を願いながら食べるのもいいかもしれません。

●広報へのご意見、ご要望をお寄せください
 住民生活課生活グループ 電話:5-1112 告知端末機:5-8812
 E-mail:seikatsu@towm.horonobe.lg.jp

トナカイホワイトフェスタ中止のお知らせ

北海道内における新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年12月に開催している「トナカイホワイトフェスタ」は、中止することとしました。開催を楽しみにしていただいていた方には申し訳ありませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



お問い合わせ先:企画政策課企画政策グループ
 電話:5-1114 告知端末機:5-8814